

平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

学校法人 谷岡学園

〈大阪商業大学堺高等学校〉

学校法人谷岡学園 平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

(1)大阪商業大学

大学院	地域政策学研究所 地域経済政策専攻、経営革新専攻
経済学部	経済学科
総合経営学部	経営学科、商学科、公共経営学科(平成30年度より募集停止)
公共学部	公共学科

(2)神戸芸術工科大学

大学院	芸術工学研究科 芸術工学専攻、総合アート&デザイン専攻
芸術工学部	環境デザイン学科、プロダクト・インテリアデザイン学科 ファッションデザイン学科、ビジュアルデザイン学科 まんが表現学科、映像表現学科、アート・クラフト学科

(27年度より募集停止)

先端芸術学部	まんが表現学科、映像表現学科、クラフト・美術学科
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科、ファッションデザイン学科、 プロダクトデザイン学科、環境・建築デザイン学科

(3)大阪商業大学高等学校

全日制課程普通科

(4)大阪商業大学堺高等学校

全日制課程普通科

(5)大阪緑涼高等学校

全日制課程普通科
全日制課程調理製菓科

(6)大阪商業大学附属幼稚園

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況(平成30年5月1日現在)

(1)大阪商業大学

※1…平成30年度より募集停止

学部等	学科[専攻]		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
大学院 地域政策学研究科	地域経済政策専攻	博士前期課程	10	20	3	6
		博士後期課程	3	9	3	5
	経営革新専攻	修士課程	10	20	5	7
	計		23	49	11	18
経済学部	経済学科		300	1,360	351	1,523
	計		300	1,360	351	1,523
総合経営学部	経営学科		400	1,440	462	1,521
	商学科		150	600	172	644
	公共経営学科※1		—	450	—	523
	計		550	2,490	634	2,688
公共学部	公共学科		250	250	253	253
	計		250	250	253	253
合 計			1,123	4,149	1,249	4,482

(2)神戸芸術工科大学

※1…平成27年度より募集停止

学部等	学科[専攻]		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
大学院 芸術工学研究科	芸術工学専攻	博士後期課程	6	18	1	6
		修士課程	27	54	32	54
	計		33	72	33	60
芸術工学部	環境デザイン学科		70	280	72	311
	プロダクト・インテリアデザイン学科		70	280	68	287
	ファッションデザイン学科		50	200	41	160
	ビジュアルデザイン学科		80	320	91	320
	まんが表現学科		45	180	35	155
	映像表現学科		45	180	55	210
	アート・クラフト学科		40	160	29	133
	計		400	1,600	391	1,576
先端芸術学部	まんが表現学科※1		—	—	—	8
	映像表現学科※1		—	—	—	10
	クラフト・美術学科※1		—	—	—	5
	計		—	—	—	23
デザイン学部	環境・建築デザイン学科※1		—	—	—	9
	プロダクトデザイン学科※1		—	—	—	5
	ファッションデザイン学科※1		—	—	—	7
	ビジュアルデザイン学科※1		—	—	—	12
	計		—	—	—	33
合 計			433	1,672	424	1,692

(3)大阪商業大学高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	325	375	1,250

(4)大阪商業大学堺高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	360	538	1,420

(5)大阪緑涼高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	130	109	312
	計	130	312
全日制調理製菓科	60	53	53
	計	60	53
合 計	190	162	365

(6)大阪商業大学附属幼稚園

保育年限	募集定員	収容定員	入園者数	園児数
3歳児(3年)、4歳児(2年)、5歳児(1年)	60	170	46	156

3 役員・教職員の人数

(1)役員(平成30年5月1日現在)

理事	理事長	谷岡一郎	監事	岡山栄雄
	常務理事	中井節雄	監事	西村義明
	理事	谷岡瑞子		
	理事	齊木崇人		
	理事	佐藤賢治		
	理事	加藤幸江		
	理事	常岡裕之		
	理事	片山隆男		

(2)評議員(平成30年5月1日現在) 20名

(3)教職員(平成30年5月1日現在)

学校名	教員・研究員	職員	合計
大阪商業大学	219(110)	162(22)	381(132)
神戸芸術工科大学	229(131)	83(20)	312(151)
大阪商業大学高等学校	110(41)	17(1)	127(42)
大阪商業大学堺高等学校	127(50)	14(0)	141(50)
大阪緑涼高等学校	56(22)	21(6)	77(28)
大阪商業大学附属幼稚園	16(4)	3(2)	19(6)
合計	757(358)	300(51)	1,057(409)

※()は非常勤教職員(内数)、法人職員は大阪商業大学に含む。(役員関係及び兼務者は除く。)

2 事業の概要

大阪商業大学堺高等学校

(1) 学校基本領域

建学の理念「世に役立つ人物の養成」の4本柱に基づく、指導目標「自学・自律・勤労」を具体的に訓育し、本校生としての謙虚に自身と誇りをもたせる指導を実践展開し、生徒の未来を開き、生きる喜びに繋がる体験をさせ、豊かな心と人生を楽しく生きる心を育てる学校として、地域から支持され、地域を支える学校へ進化し泉州域の支援者が増えつつあります。

また、本校の教育実践が、建学の理念の地域社会及び泉州域への普及になり、本校の存在を知らしめ安心して子どもを預けることができる学校となっています。今年度は1,612名の志願者を迎え、専願者での定員確保には適うことが出来なかったことは反省点であり、また、併願者の戻り率は昨年を大きく下まわり9.4%となり、456名の入学者となりました。在籍数の大きな減少にはならなかったものの、今後は専願者増に繋がる教育を実践し、専願者確保の諸施策を(専願者確保・スポーツ推薦の強化等)を講じて、謙虚に奢ることなく、脇を締めて教育の充実を懸命に努力していきます。

(2) 学習指導領域

建学の理念に基づく「心の教育」を本校教育の指針としています。礼儀や節度は心のあり方とし、心が変われば態度が変わり、習慣を変え、人格を変え、人生を変えていくと考え、心の教育の実践である勤労教育の充実を図り、HR指導等に援用させた指導を継続し実践しています。結果として、思いやりの心、感謝の心、生命を尊ぶ生きる喜びにつなげた講話を、全体集会や学年集会で指導実践し、聞く姿勢なども含め学校生活全般及び登下校の中に反映させています。また、人間の普遍の原理である過去は変えられないが、未来はどのようにも変えられるとして、謙虚に自信と誇りを持たせる指導の実践は、少しずつではあるが商大堺が自分の学校であるとの自覚が見られ帰属意識も高まっています。

なお、今年度も勤労教育で作付けした作物を収穫させ、家庭科調理実習の食材として利用し、食育として実践しています。食育教育の観点から、食べ物の偏食は人間の好き嫌いにも繋がることから、その改善のために昨年と同じく、演習農園で育てた作物を試食させ、その改善に努めました。結果的に、指導の果実として、在籍生徒全般に学習面の向上と落ち着いた学校の校風を築き始め、生活面の落ち着きが見られるのは、教育実践の成果だと考えています。その成果は、学習面にも及び、授業に取り組む姿勢も良くなっている生徒も見受けられます。さらに、学力向上委員会に加えて、昨年度立ち上げたエキスパートコース委員会においてもコース目標達成のために諸施策を継続し、全校上げてコース目標が達成できる具体的な目標数値を設定し、次年度の進路にもその成果が出せるように邁進いたしたく思います。

(3) 生活指導領域

建学の理念「世に役立つ人物の養成」の現代解釈の4本柱の冒頭にある「思いやりと礼節をわきまえた責任感ある人物」を本校生活指導の指針として今年度も取り組みました。この指針を「心の教育」に関連させ、心の反映が人間の礼儀と節度にあらわれると考え、心の伴った挨拶を励行し、マナーの向上を目指しました。今年度も、教員の通学路指導や校門指導、校則遵守の指導強化を行い、地域の評価も向上しつつあり、大きく改善されたように考えています。また、女子生徒の増加に伴い、今年度もマナー講習会を継続実施できたことも前進であると思います。社会の変化に伴う交通社会人としての自覚と、法令遵守させるために取り入れている自転車運転免許制度も継続実践いたしました。結果といたしまして、地域からの苦

情が少しずつ本校生を認める言葉に変化しつつあります。さらには、心のケアにも努め近隣中学より面倒見のよい学校として評価を頂いております。今後も、問題行動の変化やその性質の変化にも対応できるように研修等を積み対応力の向上に努めて参りたいと考えています。

(4) 進路指導領域

高大連携や新大学入試制度の導入が2年後から実施されることに伴い、系列大学入試にも変更が為されつつあり、大学進学指導のあり方にそれぞれの学校の取り組みが問われています。2020年度入試に向かう進学指導はそういう意味から、新しい時代に波が押し寄せているように感じます。

今年度は、進学実績の向上を目ざした取り組みに一定の成果が表れてきていると考えています。昨年に続き国公立大学と難関私学への合格者を複数名出しておりますが、系列大学等の入試制度の改革に伴い連携を深める努力をいたしましたが、大阪商業大学76名、神戸芸工大5名にとどまり、他大学を含め入試制度の抜本的熟知と学力をつける指導の強化を図る必要性を強く感じております。次年度に向けて具体的な一つ一つの課題を突破し、新しい指導に向けて努力して参ります。

就職先の開拓と公務員等の受験対策が急務でありましたが、公務員試験等に複数名が合格し改善が見られたことは成果だと考えます。また、幅広い学力の生徒を迎え、低学力者を伸ばす教育も大切と考えています。系列大学への進学者数を増加させることも学園発展のために重要課題だと考え、全力で取り組んでいきます。

(5) 入試・渉外領域

地域の特性にあった入試渉外活動を重視し生徒確保に努め、特に泉州、堺地域の文化にあった広報活動を展開しました。また、地域貢献の継続をはかり、地域に支えられる学校から、地域を支える学校作りが、渉外活動の充実につながると考えました。そのような観点から専願者確保に取り組みましたが、南部地域の公立志向が強く苦戦し、専願者で募集定員を確保できなかったことは反省点であると思います。また、受験生全体におきましては約100名の減少で1,612名の受験生で戻り率も9.4%の119名となり、新入生は456名となりました。スポーツコースにおきましては、クラブ活動の強化により、募集定員を上回る104名が入学し、次年度に向けても継続し努力していきたいと思っています。

トワイライト説明会も、地域単位の新たな渉外活動として大きな意味を持つと考え、日程等の計画変更をした結果、昨年度を上回る参加者があり、参加者の出願率は8割を超えている実績を踏まえて継続して実施していきたいと考えています。

(6) 教員の研修・研究領域

コース目標達成のために、各学年の学習への取り組みと各教科への連携を強化し、さらにはエキスパート委員会を中心に進路指導部とも連携し、より機能的かつ実践的な取り組みを実施いたしました。このことが少数ではありますが、国公立大学及び難関私立大学合格者を複数名出すことにつながったと考えています。また、今年度も、他校訪問を実施し、その実践にも学び研修会等で研鑽を積み、教員のスキルアップのための予備校への研修にも積極的に参加し、実践力の強化をいたしました。さらなる受験対策の研究と強化が必要であると思います。教員の資質向上については、公開授業の実施及び研究授業を実施しました。なお、いじめ防止基本方針の策定に従い、日々の生徒指導を実践いたしました。今年度につきましては事案の発生はありませんでした。

(7) 経営領域

学校の特色として、生徒、保護者、教職員が明るく楽しいと思える学校作りに力点を置き、親の願いと生徒の夢や希望が叶う学校、さらに地域に開かれた学校を目指しました。また、地域貢献として地域の清掃活動への参加、及び近隣小学校、幼稚園との連携強化を図りました。結果として、本校を中心とする地域から愛され、信頼され、地域を支える学校へと進んでいます。周辺中学からの志願者は、大きな減少もなく順調な結果となりました。生徒、保護者の居場所となる教育の場となるよう今後も努力いたします。

また、塾との関係強化のために、塾訪問を年2回実施し、今年度の志願者の総数を上げるべく取り組みましたが、志願者増にはつながらず心引き締めて次年度に取り組みたいと思います。

教育環境につきましては、昨年度ご理解を得て新校舎(6教室)を建設して頂いたことは、教育活動全般の充実に繋がり、安定的な学校運営の大きな力になっております。施設設備の充実ににつきましては、今後の課題であると考えます。さらに、財政基盤安定のため、現状の在籍数確保のための諸施策を実施いたします。なお、危機管理については、積極的に研修会等を実施していきます。

(8) その他の領域

建学の理念「世に役立つ人物の養成」の4本柱による、具体的な人物像は、人間の幸せな生き方と人を幸せにするものであると考えます。世の中の人の役に立つとは、身近な家族を支え、友人を支え、近隣を支え、地域を支え、多くの人々(社会)に生きる喜びを与え、未来を開くものであろうかと思えます。そして、与えた多くの人々から自分もまた多くの喜びと幸せを与えられると思えます。この観点から、広く社会に建学の理念を普及させ、社会に貢献しうる人物の養成の一步として、学校行事等で開かれた学校作りに取り組み、地域住民参加を図り、保護者との連携強化に努めました結果、昨年度を上回る参観者があり地道な継続と努力が本校の評価につながっています。今後は、同窓会組織へのさらなる参加を要請し、努力していくことが大切であると考えています。

3 財務情報

資金収支内訳表

30年4月 1日から
31年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科目	部門	大阪商業大学堺高等学校
学生生徒等納付金収入		524,921,238
手数料収入		32,411,200
寄付金収入		5,461,000
補助金収入		758,089,292
国庫補助金収入		9,201,000
地方公共団体補助金収入		409,692,480
地方公共団体授業料軽減補助金収入		339,195,812
資産売却収入		0
付随事業・収益事業収入		0
受取利息・配当金収入		136,419
雑収入		90,376,457
借入金等収入		0
計		1,411,395,606

支出の部

(単位:円)

科目	部門	大阪商業大学堺高等学校
人件費支出		891,123,294
教育研究経費支出		281,247,033
管理経費支出		49,472,421
借入金等利息支出		0
借入金等返済支出		0
施設関係支出		50,464,833
設備関係支出		2,763,252
計		1,275,070,833

事業活動収支内訳表

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目		部 門	大 阪 商 業 大 学 堺 高 等 学 校
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	524,921,238
		手数料	32,411,200
		寄付金	5,816,210
		経常費等補助金	748,888,292
		付随事業収入	0
		雑収入	93,638,025
		教育活動収入計	1,405,674,965
	支事業の活動部	人件費	916,739,327
		教育研究経費	371,852,331
		管理経費	61,450,276
教育活動支出計		1,350,041,934	
教育活動収支差額			55,633,031
教育活動外収支	収事業の活動部	受取利息・配当金	136,419
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	136,419
	支事業の活動部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額			136,419
経常収支差額			55,769,450
特別収支	収事業の活動部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	10,647,756
		特別収入計	10,647,756
	支事業の活動部	資産処分差額	1,642,139
		その他の特別支出	15,000
		特別支出計	1,657,139
特別収支差額			8,990,617
基本金組入前当年度収支差額			64,760,067
基本金組入額合計		△	47,115,902
当年度収支差額			17,644,165
前年度繰越収支差額		△	2,454,467,041
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額		△	2,436,822,876

(参考)

事業活動収入計	1,416,459,140
事業活動支出計	1,351,699,073

※人件費、管理経費には、法人経費が含まれています。